事業所名		HANAFUKU	支援プログラム(参考様式)	作成日
法人(事業所)理念		「ひとりひとりに寄り添い、その子らしさと可能性を育む支援を」		
支援方針		小規模保育園と子育て支援センターとの複合施設として、安全安心な環境で、療育(感覚統合療法)に特化した支援を行います。子どもたちの個性を大切にし、一人ひとりが自立した日常 生活を送り、将来に向けて様々な可能性を切り開いて行けるようサポートしていきます。		
営業時間		9 時 00 分から	18 時 00 分まで 送迎実施の有無	<b>あり</b> なし
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	①生活習慣の支援・トイレトレーニングのサポート・トイレットペーパーの使い方・衣類をたたむ、しまう・自立した生活動作の獲得・食具(スプーン・フォーク・箸)の 持ちかた②・手洗いなどの方法・ティッシュの使い方や鼻をかむ練習		
	運動・感覚	①粗大運動の支援(大きな動きを育てる)・全身を使ったサーキット遊び、マット運動、トランポリンなど・バランス感覚や筋力を養う運動遊具の活用・動きの模倣やルールのある遊びへの参加支援②感触遊び・粘土・感触マットなど触感への慣れを促し、過敏さや苦手意識の軽減を図る③微細運動・ビーズ通し、はさみ練習、折り紙など、手先の巧緻性や集中力を養う④感覚調整活動・揺れる・包まれる・跳ねるなどの動きや不快圧刺激を通じて、気持ちを落ち着ける「自己調整」を促す		
	DIDYH IJ≆J	①認知課題への取り組み・パズル、絵合わせ、マッチング、迷路などを使い、視覚的・言語的な情報処理能力を養う②指示理解の練習・「〇〇してから△△」などの2段階指示、絵カード・ジェスチャーを併用しての支援③注意・集中の支援・タイマーやスケジュール提示で活動の見通しを明確にし、集中しやすい環境を整える④行動調整の支援・ルールのある遊び(順番、待つ、交代など)を通じて、衝動性のコントロール・他者との関係性を学ぶ⑤気持ちの切り替え支援・ブレイクタイムや「気持ちのカード」などを使い、自分の感情や行動を客観的に理解できるよう促す		
	言語コミュニケーション	①語彙の拡大支援・絵カード・実物を使って「ものの名前」「動き」「気持ち」などを楽しく学ぶ②発語の促し・好きなものを使って要求場面を作り、「ちょうだい」「もっと」などの発語やジェスチャーを引き出す③理解の支援・簡単な言葉・動作・絵カード・音声指示などで言葉の意味を視覚的に理解出来るようにする④会話の練習・ 挨拶・順番に話す・相手の返答を待つ等、簡単なロールプレイややり取り遊びを通して会話のルールを体験する⑤代替え手段の活用・発語が難しい場合は、指差し・絵カード・視線などを使ったコミュニケーション方法を提供⑥感情表現の支援・「うれしい」「いやだ」など、気持ちの言葉や表情を学び、自分の気持ちを伝える力を育てる		
	人間関係 社会性	①関わりのきっかけ作り・平行遊び・共同作業・ペア遊びなどを通して、他児との自然な接触機会を作る②ルール遊び・鬼ごっこ・だるまさんがころんだ・リズム遊びなどで、順番、交 代・勝ち負けなどを経験し、集団の中でのルール理解を促す		
	家族支援	保護者面談・子育てサポート支援・家族支援な育てが出来る緯線を行います	どを通じて、家庭でも安心して子 移行支援 移行支援	・就学を見据えた活動(机上課題/着席活動/時間の切り替え活動)・就学 前相談のサポート、情報提供
地域支援・地域連携		・保育所等訪問支援の実施・保育園・幼稚園等 必要に応じて支援の場の調整など行う・地域の や支援方針について情報交換を行う	との連携による訪問支援や助言。 相談支援専門員との個別支援計画 職員の質の向上	・外部研修の受講:ズーム等を用いて専門機関主催の研修・内部研修:月 1回程度の定期研修・支援の振り返り会議・新人研修体制
	主な行事等	体験・説明会、保護者セミナー等		